

地域社会でレク文化の定着をめざして

—東京都八王子市レクリエーション協会の地域活動の実例紹介を通して

丸 山 正

(八王子市レクリエーション協会)

1. 八王子市の概要

八王子市は東京の最西端に位置し、187.79平方kmの市域に417,696人(1985.8.1現在)の市民が住み、明治の森高尾国定公園や、陣馬、多摩、秋川などの都立自然公園に囲まれた、緑に恵まれた町である。

この八王子は、甲州街道の宿場町、市場町として栄え、昔からこの地方の政治、経済、文化の中心地であった。関東五大機業地の一つで、燃糸、織物の中小工場が多く、「八王子織物」は、近年まで町を支える基幹産業であった。

現在は、東京のベッドタウンとして発展し、また、19校もの大学が開設されて、学園都市としても注目されはじめた。社会教育活動も盛んで、体育協会、文化連盟、地域子ども会、体力づくりなどの団体が成就した組織をつくっている。

この八王子市に、レクリエーション協会が産声をあげたのは、1972年12月4日である。

2. 八王子市レクリエーション協会の沿革

1969.12.2 レクリエーション団体の結成を市民に呼びかける。

70.2.4 八王子フォークダンスの会と八王子市民歩こう会が発足。

70.3.8 レクリエーション団体協議会を結成。同一歩調でレクリエーション運動をす

ずめることを確認する。

70.5.24 第1回市民レクリエーション大会開催。(陵南公園)

70.8.29~30 レクリエーション団体協議会第1回サマーキャンプ(陣馬山)

1971.5.6 第2回市民レクリエーション大会(富士森陸上競技場)

71.8.1 第11回八王子まつりに初参加。

1972.11.11~13 第26回全国レクリエーション大会東京大会に参加。

72.12.4 八王子市レクリエーション協会発足総会。参加5団体。

1973.4.2 第1回理事会。(教育研究所)

73.4.5 東京都レクリエーション連盟に加盟。

73.9.7~12 レクリエーション指導者講習会開催。(八王子三中)

73.9.15~11.11 秋の市民レクリエーション祭り開催。歩け歩けいも堀り大会、わんぱくホスティング、徒歩オリエンテーリング大会など。

73.11.3~12.1 三多摩レクリエーションスクール(5コース)開催。

1974.5.19 第5回市民レクリエーション大会(富士森陸上競技場)

74.9.22~11.10 市民レクリエーション祭り。

1975.2.18~3.14 都民レクリエーションスクール開催。(市民体育館)

75.5.5 第1回親子レクリエーションの集い。

- (市民体育館)
75. 5. 18 第6回市民レクリエーション大会。
(富士森陸上競技場)
75. 6. 12 第1回八王子市レクリエーション指導者認定会。(市民体育館) 50名合格。
75. 12. 13 第1回年忘れ市民レクリエーションの集い。(市民体育館)
1976. 4. 18 滝山城址桜祭りフォークダンスの集い。(滝山城址公園)
76. 10. 1 第30回全国レクリエーション大会(秋田市)で、優良レクリエーション活動団体として表彰を受ける。
76. 11. 3 第1回市民健康祭り。(富士森陸上競技場)
1977. 6. 18~19 レクリエーションの船。(伊豆大島)
77. 8. 20~22 第1回市民キャンプ。(相模湖ピクニックランド)
1978. 1. 5~7 第1回ちびっ子雪祭り開催。(白樺青少年の家)
78. 4. 12~26 テクニックセミナー開催。
78. 9. 5~10 ファミリー写真教室。
78. 12. 14 第1回市民カクテル教室。
1979. 5. 29 第1回西東京地区レクリエーション団体会議。(国分寺市)
79. 7. 6 八王子レクリエーション学園第1期開校。(平野ビル)
79. 9. 9 フィリッピンダンス特別講習会。(市民体育館)
79. 12. 2 第1回朝日オリエンテーリング全国大会。(八王子川口地区)
1981. 6. 1 協会事務所が第一加地ビルに移転、業務開始。
81. 6. 8 第1回市民ゲートボール大会。(富士森陸上競技場)
81. 6~82. 3 家庭婦人トリム教室。
81. 9. 7 第1回八王子七福神めぐり。
81. 10. 1 東京都より社会体育優良団体として表彰を受ける。
81. 11. 1 第1回市民インディアカ大会。(八王子三小体育館)
81. 11. 8 八王子子どもフェスティバル。(富士森公園一帯)
81. 11. 21~22 八王子いちょう祭りを開催。(甲州街道)
81. 11. 29 第3回朝日オリエンテーリング全国大会。(南八王子地区)
1982. 4. 1 カルチャーセンター(第1期)開講。(協会研修室、他)
82. 8. 20~23 第1回八王子子ども学園。(山梨県三富村)
82. 9. 19 第1回チェックボール講習会。(八王子三小)
82. 12. 5 協会創立10周年記念式典。
1983. 7. 14 オランダ木管合奏団演奏会。(市民会館)
83. 11. 3 第1回身障者運動会。(市民体育館)
1984. 11. 12 ウクライナアンサンブル公演。(市民会館)
84. 11. 17~18 第5回八王子いちょう祭り(甲州街道)
84. 11. 18 第4回市民ゲートボール大会。(明治生命グラウンド)
84. 12. 2 第15回市民レクリエーション大会。(市民会館)
84. 12. 26~29 第8回ちびっ子雪祭り。(岩原高原スキー場)
1985. 4. 21 第18回市民オリエンテーリング大会(南浅川)
85. 5. 19 第10回市民健康祭り。(富士森)
85. 6. 2 第5回市民インディアカ大会。(市民体育館)
85. 7. 26~28 第9回市民キャンプ。(三入農場)
85. 8. 2~4 第25回八王子祭り。(甲州街道)
85. 8. 9~12 第4回八王子子ども学園(陣馬高原)
85. 9. 7 第9回市民七福神めぐり。(八王子市内)

3. 八王子市レク協会の事業概要

八王子市レクリエーション協会は、定款に「本協会は、レクリエーション運動の推進につとめ、市民の健康増進と文化生活の向上をはかる」と規定し、市民にレクの楽しさを普及する事業と、指導者を養成する事業を、2本の柱にして運動をすすめている。みんなのスポーツ運動やカルチャーセンターなどの文化講座と、八王子いちょう祭り、七福神めぐり、市民レク大会などのような住民参加のイベントを市民に提供して、手づくりの文化運動をめざすとともに、この運動を支える指導者の養成に力を入れ、長期専門指導者養成機関として、八王子レクリエーション学園（Ⅱ類校）を開設しているほか、各種講習会（2級指導者資格取得対象）も、年間13～18講座開催している。

その他の事業として、レク財を提供する事業（需品）や、レクを普及する事業（広報、組織）も行っている。

八王子市レク協会には、30種目団体、約4500人が正会員として登録しており、レク協회를拠点にそれぞれ独自の活動も展開している。1981年6月に、現在の第一加地ビルに事務所を独立させてからは、市民からのレク相談が増え、市民のためのインフォメーションセンターとしての機能と、レク指導者に対するベース機能を備えている。

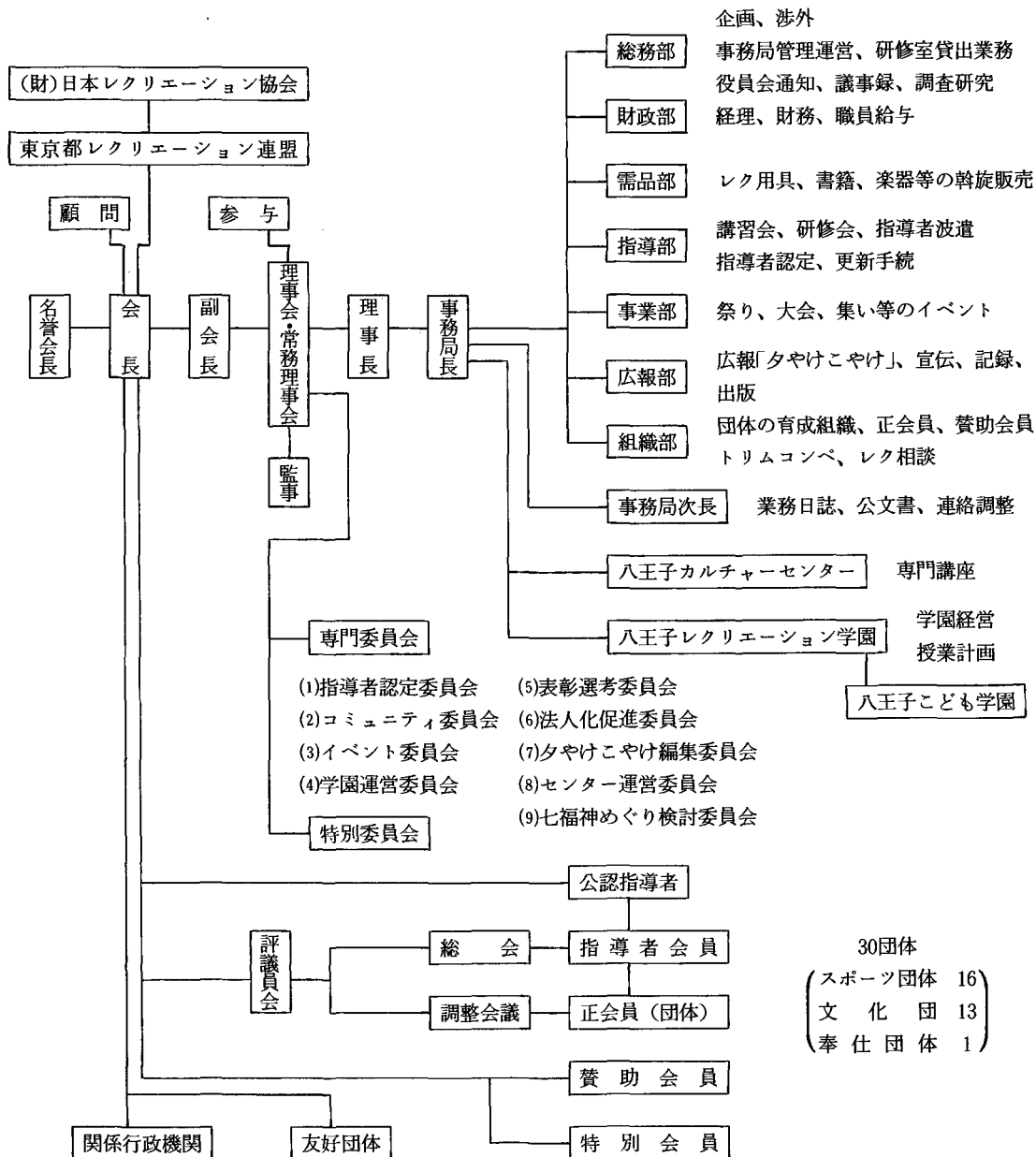
八王子市レク協会の組織はつぎの通りである。
(図1)

4. 町づくりに参画できる指導者の養成

(1) 幅広く連帯するレク指導者

八王子市レク協会のレク運動を支えているのは、日本レク協会の認定指導者（表-1）だけでなく、各種目団体の認定指導者（表-2）をはじめ、体育指導委員や青少年団体の育成指導者であり、さらに、資格や肩書に関係なくボランティア活動を続けている主婦などの市民である。（表-3）八王子市レク協会指導者バンクに登録している350人の指導者の中には、華道、着付、長唄、三味線、日本舞踊といった稽古事の師匠も含まれており、多様な市民のレク要求に対応している。（表-4）
表-4 八王子市レク協会指導者バンク種目一覧
（指導者派遣規則第5条）

図1 八王子レクリエーション協会組織図



八王子市レクリエーション協会指導者

表一、日本レクリエーション協会指導者

(1985. 9. 1. 現在)

2 級	149名 (レク学園卒業生を含む)
1 級	20名 (レク学園卒業生を含む)
上 級	6名
計	175名

2 級は登録未更新者を含む

表一、種目団体認定指導者

(1)日本フォークダンス連盟 (2)日本キャンプ協会

4 級	148名
3 級	4名
2 級	1名
1 級	なし

初 級	60名
中 級	4名
上 級	6名

(3)日本ユースホテル協会 (4)日本オリエンテーリング委員会

初 級	25名
中 級	4名
上 級	6名

3 級	46名
2 級	3名
1 級	5名

(5)日本インディアカ協会

審判員	150名
-----	------

表一、その他のレク指導者

スポーツ関係	29名
文化活動関係	79名
団体育成関係	28名
奉仕活動関係	7名
職業レク関係	23名
計	159名

(2) 指導者養成カリキュラムの共通化

八王子市レク協会では、各種目団体の公認指導者資格取得の対象講座を、検定会もセットして、すべて主催または共催の形で実施しているが、種目団体独自の指導者養成カリキュラムに加えて、レク原論やレク運動論等を組み入れている。各種目共通のカリキュラムとして、レクの基礎理論を研修し、その上に、各種目団体の指導者養成課程にもとづくカリキュラムを展開するという方法をとっているのである。

(3) 八王子レクリエーション学園

八王子レク協会のレク運動のテーマは、新しい時代の創造と文化の香り高い豊かなまちづくりを旨とする市民運動であり、その中核的役割を果すがレク指導者である。そのために、市民の生活状況を把握し、見直し、提案していける高い見識とレク技術(企画力、組織力等)を備えた、人間味あふれるレク指導者が望まれる。八王子市レク協会では、これに応えるべく、1954年にレクリエーション専門学校(八王子レクリエーション学園)を開校した。講師には、文化人活用の一環として市内に住む学者や作家、俳優などを招へいしているほか、現役の市長や第一線の現場で活動しているレク指導者にも出講してもらっている。

5. 新しい市民文化の創造を旨として

(1) 八王子いちょう祭り

八王子の追分から高尾まで、甲州街道(国道20号)のいちょう並木を舞台に、自然と人間との対話をテーマに、昔から住んでいる市民と新しく住みつけた市民、それに市内の19大学の学生など若者たちとのハーモニーの中から、新しい市民文化を創り出そうというのが「八王子いちょう祭り」である。

いちょう祭りは、市民が主役の手づくりの祭りを旨とし、1981年の11月、八王子市レク協会の事務所が現在の第一加地ビルに独立したのを契機に、その2年前に1度開催されたものを、再開させた祭りである。八王子市レク協会が事務局となって、町会連合会、商店連盟、商工会議所、観光協会、

八王子市レク協会指導者バンク種目一覧

(指導者派遣規則第5条)

(1) スポーツ活動

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ① 各種ゲーム | ② トリム | ③ ラジオ体操 |
| ④ 縄とび | ⑤ ゲートボール | ⑥ インディアカ |
| ⑦ ボールカロッチェ | ⑧ チュックボール | ⑨ ソフトボール |
| ⑩ バレーボール | ⑪ バトミントン | ⑫ 卓球 |
| ⑬ 軟式テニス | ⑭ 硬式テニス | ⑮ 弓道 |
| ⑯ 剣道 | ⑰ 健康マラソン | ⑱ キャンピング |
| ⑲ ホステリング | ⑳ オリエンテーリング | ㉑ サイクリング |
| ㉒ 各種ハイキング | ㉓ 徒歩ラリー | ㉔ 野外料理 |
| ㉕ 野草採集 | ㉖ 自然観察 | ㉗ ロープワーク |
| ㉘ 手旗 | ㉙ 登山 | ㉚ ゴルフ |
| ㉛ レクリエーションカヌー | ㉜ 魚釣 | ㉝ 水泳 |
| ㉞ アクアラング | ㉟ サーフィン | ㊱ レクリエーションスキー |
| ㊲ スケート | ㊳ キャンプファイヤー | ㊴ ボーリング |
| ㊵ フォークダンス | ㊶ レクリエーションダンス | ㊷ 社交ダンス |
| ㊸ ジャズダンス | ㊹ 日本民踊 | ㊺ 日本舞踊 |
| ㊻ 新舞踊 | ㊼ ヨガ | ㊽ 大極拳 |
| ㊾ 運動会 | ㊿ 救急法 | |

(2) 文化活動

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| ① レクリエーションソング | ② 合唱 | ③ ピアノ |
| ④ アコーデオン | ⑤ ギター | ⑥ 三味線 |
| ⑦ 大正琴 | ⑧ 吹奏楽 | ⑨ 管楽器 |
| ⑩ 打楽器 | ⑪ 尺八 | ⑫ 長唄 |
| ⑬ 民踊太鼓 | ⑭ 和太鼓 | ⑮ 作曲、編曲 |
| ⑯ 吟詠 | ⑰ カラオケ | ⑱ マーチング |
| ⑲ 写真活動 | ⑳ 華道(草月、池坊、宏道) | ㉑ 茶道(表裏、江戸千家) |
| ㉒ 和裁 | ㉓ 着付 | ㉔ 盆景 |
| ㉕ 演劇活動 | ㉖ 人形劇 | ㉗ キャンドルの集い |
| ㉘ パーティの演出 | ㉙ かくし芸 | ㉚ 奇術 |
| ㉛ 美術 | ㉜ 工芸活動 | ㉝ 紙芝居 |
| ㉞ あやとり | ㉟ 折紙 | ㊱ 孔版 |
| ㊲ チェス | ㊳ 手話 | ㊴ レクリエーションマップ |
| ㊵ 文庫活動 | ㊶ スカウト活動 | ㊷ 子ども会活動 |
| ㊸ 少年団(隊)活動 | ㊹ グループワーク | |

ロータリークラブ、ライオンズクラブ、大学連絡協議会、地域婦人会など23団体と、市民、学生による実行委員会を構成している。

いちょう祭りの中心イベントは、1個500円の通行手形を持って、約4kmのいちょう並木を歩くと、街道に設けられた12か所の関所で、関守に扮した町会役員が、手形に焼印を押すという仕組みになっており、この手形が売れると、祭りを運営する財源となる。

いちょう祭りは次のような経過をたどっている。

第2回（1981年11月21日22日）

レク協会が中心になって、本格的な運営にのりだした第2回は、沿道の関所も小仏関を新たに加えた11ヶ所となり、また、大正70年を記念して、大正広場や大正館など、古き良き時代を思わせる大道芸や、大正時代を風潮した無声映画の弁士を招いての活動写真などを中心に、ミニSL、ふわふわゴリラ、アスレチックなど親子で楽しめる一家団ランドのような新しい企画も加わった。

第3回（1982年11月20、21日）

第3回の目玉は、乗り物タイムトンネルと題し、籠や、人力車、クラシックカーから始まって、その年の新車と、更に、東京高専の未来カーまでをつらねた一大パレードを実施した。運営もようやく軌道にのり、次年度も実施して欲しいとの声が高まった。

第4回（1983年11月19、20日）

この年は、女性統治による銀杏国が誕生、市内大型店8ヶ所にそれぞれ小国が生まれ、パスポートに査証を受けるパスポートフェアを中心に、イベントが展開されました、マスコミにも大々的に報道され、いちょう祭りの新しい企画として市民の視線を集めた。また、国際コミュニケーション年にちなんだパレードなど豊富な内容で、益々充実してきた。

第5回（1984年11月17、18日）

高尾駅の南口から歩いて2、3分の所に、みころも公園があり、この山の中腹に日本でも希な大きさの「菅原道真」の銅像がある。学園都

市八王子にちなんで、菅公をシンボルとする為のパレードを実施した。

第1回の際、好評だった自作の曲を自演する「八王子音楽祭」を復活させ、第3回八王子音楽祭を実施して、多くの参加者を集め、年々祭りに集う人々が増えて、30万人の祭りに成長した。

(2) 八王子カルチャーセンター

八王子市レク協会では、協会の研修室をカルチャーセンターとして一般市民に開放し、専門的な文化講座を継続的に開設している。

市内には別に、大手企業が開催している有料の文化講座と、行政（公民館や婦人センター）が実施している無料の講座とがあり、三つ巴になっているが、安い受講料で運営しているレク協会のカルチャーセンターは、市民から多くの支持を得ている。

カルチャーセンターのコースは、市民のニーズと会場の広さなどの条件を考慮して、協会の指導者バンク登録者の中から、長唄、大正琴、民謡などの師匠に出講してもらっている。コース、受講料などは次の通りである。

(3) 市民に高度な文化を提供

八王子市レク協会では、八王子いちょう祭りや八王子カルチャーセンターのほかに、市民健康祭りや市民レク祭りなどのイベントや、各種市民教室を(図-2)数多く開催して、市民の自由な発想による手づくりの文化活動を支えているが、一方で、高度な文化を市民に提供していくことも必要であるとして、世界的な文化財（オランダ木管合奏団公演、ウクライナアンサンブル公演など）に、じかに触れてもらうイベントも開催している。

(図-3)

(表-5)

No.	コース名	曜日	時間	定員	会費(月額)
1	木目込人形	月	10:00～12:00	10名	3,000円
2	華道(草月流)	月	19:00～21:00	10名	3,000円
3	大正琴	火	10:00～12:00	15名	3,000円
4	ギター(火曜コース)	火	13:00～20:00	15名	5,000円
5	三味線・長唄	水	10:00～12:00	10名	3,000円
6	健康体操とリズムダンス	水	13:30～15:00	10名	3,000円
7	ホームヨーガ	木	10:00～11:30	10名	4,000円
8	太極拳(木曜コース)	木	11:30～12:30	10名	3,500円
9	ギター(木曜コース)	木	13:00～20:00	15名	5,000円
10	モダンジャズダンス	木	10:30～12:00	10名	4,000円
11	太極拳(金曜コース)	金	10:00～12:00	10名	3,500円
12	初級英会話	金	13:00～15:00	10名	3,000円
13	習字	土	10:00～12:00	15名	3,000円
14	民踊	土	13:00～14:30	10名	3,000円
15	新舞踊	土	14:30～16:00	10名	4,000円
16	民謡	月	13:30～15:30	10名	3,000円

*各コース、個人指導を中心に運営します。

地域・職場で レクリエーション活動を

レク教室の受講生募集

最近、それぞれの地域や職場、レクリエーション活動が活発に行われています。そうしたレク活動の輪を広げるため、八王子市レクリエーション協会では、レク教室を開講。受講生を募集しています。ふるってご参加を。

- キャンプ指導者養成講習会**
日時 講義：五月十七、十七、二十四、三十一日 午後六時三十分～九時 実習：六月四、五日（二泊）
会場 レク協研修室・陣馬高原キャンプ場
対象 市内在任・在勤者
定員 三十名（先着順）
- フォークダンス指導者研修会**
日時 五月二十四、三十一日 午後六時三十分～九時
会場 市民体育館
対象 市内在任・在勤者
定員 三十名（先着順）
受講料 四千元
- レクリエーションソング教室**
日時 五月十七日 午後七時～九時
会場 市民体育館
対象 市内在任・在勤者
定員 三十名（先着順）
受講料 二千五百円
- ゲートボール指導者講習会（統一ルール）**
日時 五月二十九日 午前九時～午後四時
会場 第三小学校（寺町）

子育て講座
共働きと子育て講座へ
育つこと
六十歳以上の市民の方ならどなたでも参加できます。若くは、新しい知識と興味を付けてみませんか。

科目	期	日	時間	参加費	募集人員
子育て講座	5月10日、24日	17日	午後	1,000円	25人

はちおひ

八王子市レク協 で多彩な催し

問合せ ☎25-8009

- 集合 高尾山ケーブル山頂駅**
受付 午前九時～十一時
種目・編成 ラインズOL：二組 徒歩OL：三組
資格・定員 山頂を歩ける健康な方、五百名（先着順）
参加費 一人五百円、団体は一人三百円
- 申込み ハガキに「高尾山オリエンテーリング希望」と書きレク協へ（申込者には案内書を郵送します）**
シルバー（お年寄り）
健康体操1日無料教室
期日 九月九日～十六日
コース ①ヨーガ ②太極拳（中国式医療ラジオ体操）
時間 ①は午前十時～十一時 三十分 ②は午前十一時四十分～午後零時四十分
- 十分～午後零時四十分**
会場 レク協研修室
定員 各コース、先着十五名
申込み 電話でレク協へ
- 徒歩による夜の市内七福神めぐり**
日時・集合 九月七日午後六時に西八王子駅前口前広場
対象 市内在住者。ただし、小学生以下は保護者同伴。
コース 御所水井財天・信松院布院寺・金剛院并老母・福徳寺・匠法院恵比寿天・毘沙門堂毘沙門天・善羅寺
大黒天・吉祥院吉祥天
費用 千四百円（地図・給水・朱印、おみやげ代など）
申込み 九月六日までに、電話でレク協へ
- アコーディオン初級講習会**
期日 九月二十日、二十七日、十月四日、十一日、十八日
時間 午後六時三十分～九時
会場 レク協研修室
定員 二十名（先着順）
参加費 五千円（レク協会員は四千五百円）
申込み 電話でレク協へ
※貸し出しも行います。
- レクダンス講習会**
日時 九月十四日午後七時～九時
会場 二小体育館（八木町）
定員 五十名（先着順）
費用 資料代千円
申込み 電話でレク協へ
- 申込み 往復ハガキに懐石料理**
さん
申込み 往復ハガキに「希望コース、氏名、住所、電話番号、返信ハガキにあて名を明記し、九月八日（必着）までに、公民館パン教室へ」
期日 九月二十七日、十月五日、二十五日、十一月二三日
時間 午前十時～午後一時
会場 市役所北野出張所二階
定員 三十六名（抽選）
費用 材料費四千元（四回分）
講師 サンクッキングサロン 中橋美佐子さん
申込み 往復ハガキに懐石料理

市では、病予防のため、無料で行う診。がん対策期間治療がながん検診を、方に特に五会にぜひご対象 満三十三歳以上

ハガキの記入例
「子宮がん検診」
の付記（要領参照）

図2 八王子市の広報から

ドニエプルの恋人 ウクライナ・アンサンブル ソ連民族歌舞団公演

ウクライナ共和国の歌と踊りのアンサンブル「ザーレヴォ」を中心につきぎの30人の歌舞団を迎え「日ソ親善フェスティバル」を開きます。
深まる秋、香り高い民族芸術をお楽しみください……………。

炎のリズム—ザーレヴォ

ウクライナ共和国の歌と踊りのアンサンブル・ザーレヴォ(朝やけ)は、1937年ドネック冶金工場のダンスクラブから発展、いまではソ連邦屈指の民族舞踊アンサンブルとなり、1967年には全アマチュア芸術フェスティバル賞に輝いたソ連民族が誇る金メダリストです。躍動するステップ、華麗で独創的なダンス、若さと燃えるような美女の群舞、それに目を見はる衣装は世界各国の人々に大きな感銘を与えています。

心ゆさぶる—バンドゥーラトリオ

バンドゥーラは日本の「びわ」に似た楽器で、4～5

世紀ころからウクライナ地方に伝わる民族楽器です。この楽器をアントニーナ・ペトローワ、アーラ・シュチコの三人の美女が民族衣装に身をまとい美しい歌声でうたいます。このトリオはプロで、いまテレビ、ラジオに出演しています。

熱唱—イワン・ボノマレンコ

オデッサ音楽院大を卒業したソ連邦最高のバリトン歌手です。海外での数多くの公演のほか、世界の主な音楽祭に出演し、多くの賞に輝いています。現在、キエフオペラバレエ劇場のソリスト、ウクライナ共和国功労芸術家。37歳。



'84 11月13日(火)PM6:00

開場

八王子市民会館

☎0426—22—8251 (国電八王子駅南口徒歩7分)

チケット料金

S ¥2,000

A ¥1,500

B (自由席) ¥1,000

主催 八王子市レクリエーション協会 〒192 八王子市大横町1-9 第一加地ビル ☎0426—25—8009

後援 八王子市・八王子市教育委員会・ソ連大使館・日ソ親善協会・財団法人八王子市コミュニティ振興会

八王子市大学連絡協議会学閥都市友の会・八王子文化迷盟・読売新聞社

協賛 株式会社全音楽譜出版社・小杉会館・

図 3

参考文献

- 1) 大野力 丸山正：対談・参加者がいない手の文化をどう広げるか、月刊レクリエーション 1981.1 p30～36
- 2) 丸山正：レク協会こそまちづくりの中核だ、月刊レクリエーション 1984. 4 p21～25
- 3) 有賀 光、今井毅、宇田川光雄、佐藤靖典、藺田碩哉、丸山正：座談会・休眠指導者をどう目賞めさせるか、月刊レクリエーション1982.11, p63～66, 1982.12, p64～68
- 4) (財)日本レクリエーション協会：地域レク運動の方向、レクリエーション指導の理論、1982.6, p144～149
- 5) 八王子市レクリエーション協会：創立10周年記念誌あゆみ、1982.12, p24～33